

令和7年度 調布市立第七中学校 指導計画・評価計画表 【2年生技術科】

観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価目標（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
C エネルギー変換 時間（1～15 4～7月	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路の基本的な性質や図記号を理解している。</li> <li>電気、熱の特性の原理・法則の仕組みについて理解している。</li> <li>安心・適切な製作、実装、点検及び調整ができる。</li> <li>電気製品や屋内配線の安全な使用方法について考えることができる。</li> <li>身近な機器の適切な保守点検ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な電気回路を構想することができる。</li> <li>電気の送電や配電に関わる基礎的な用語の意味を理解している。</li> <li>はんだ付けを安全かつ適切に行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>作品</li> <li>定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材工夫</li> <li>質問用紙</li> <li>補習実習</li> <li>個別指導</li> </ul>
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会の中からエネルギー変換の技術にかかわる問題を見出して課題を見つけ出し、解決策を考えることができる。</li> <li>身の回りにあるエネルギー変換の技術にこめられた工夫を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作した電子回路を評価し、改善点を考えることができる。</li> <li>社会にある電気を使用した技術を評価し、改善する方法を構想できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の取組</li> <li>ワークシート</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材工夫</li> <li>個別指導</li> <li>製作例提示</li> </ul>
	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んでエネルギー変換の技術とかかわり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。</li> <li>自分なりの新しい考え方やとらえ方によって、解決策を構築しようとしている。</li> <li>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けてエネルギー変換を工夫し創造していこうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら進んでエネルギー変換にかかわる技術を見つけ出し、技能について身に付けようとしている。</li> <li>社会や身近にある機構にかかわる問題を見つけ出そうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の取組</li> <li>振り返りシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材工夫</li> <li>補習実習</li> <li>個別指導</li> </ul>

指導単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価目標（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
D 情報 計測・制御 時間（～35） 9～3月	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの構成や情報の量など情報の原理、原則について理解し説明できる。</li> <li>・構想したプログラムを説明することができる。</li> <li>・計測・制御システム等の原理や情報モラルの必要性について理解している。</li> <li>・情報技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計測・制御システムに関する基本的な言葉を理解することができる。</li> <li>・基礎的なプログラムをすることができる。</li> <li>・身近な計測・制御システムについて調べ、まとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・作品</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材工夫</li> <li>・質問用紙</li> <li>・補習実習</li> <li>・個別指導</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会の中から情報の技術にかかわる問題を見出して課題を見つけ出し、解決策を考えることができる。</li> <li>・身の回りにある情報の技術にこめられた工夫を読み取るすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの構想をまとめ、自ら調整することができる。</li> <li>・制作したプログラムを評価し、次の改善案等を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の取組</li> <li>・ワークシート</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材工夫</li> <li>・個別指導</li> <li>・製作例提示</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで情報の技術とかかわり、主体的に理解し、技能を身に着けようとしている。</li> <li>・自分なりの新しい考え方やとらえ方によって、解決策を構築しようとしている。</li> <li>・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて情報の技術を工夫し創造していこうとしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで情報にかかわる技術を見つけ出し、技能について身に着けようとしている。</li> <li>・社会や身近にある情報にかかわる問題を見つけ出そうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の取組</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材工夫</li> <li>・補習実習</li> <li>・個別指導</li> </ul>